



令和6年度 土浦市立荒川沖小学校 グランドデザイン

目指す学校像

皆の瞳が輝く学校

目指す児童像

進んで学ぶ子
思いやりのある子
健康でたくましい子

目指す教師像

子どもに寄りそい、共に成長する
教師

学校経営の方針

- 児童の健やかな成長を全職員で支援する。
- 個々の課題、学級の課題は、学校の課題と捉え、組織で対応する。
- 保護者・地域と連携し、開かれた学校をつくる。

土浦三中地区教育目標

一人一人の能力を伸ばし 豊かな心を育み たくましく生きる人間を育成する

学校教育目標

自ら学ぶ力と自らを育む力をもつ
心豊かで主体的な児童の育成

土浦市学校教育目標

一人ひとりを生かす創意と活力に満ちた学校教育を推進し、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育の展開に努める

茨城県学校教育指導の方針

すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり
カリキュラム・マネジメントの確立、豊かな学びの展開、安心して学べる環境の保障

小中一貫教育を支える組織

校長部会・教頭部会・教務主任部会
かしこさ部会 すこやかかさ部会
ゆたかさ部会 キャリア教育部会

組織目標

「児童一人一人の豊かな学びに向けた授業改善」

- ICTの効果的な活用と探究的な学びの推進
- 児童の学力向上を図るRPDCAサイクルの確立
- ワーク・ライフ・バランスを意識した職場環境づくりの推進

校内研修テーマ

児童の豊かな表現力を育む授業づくり～表現することを楽しみ、生き生きと伝え合う児童の育成を目指して～

『進んで学ぶ子』を育てるために

- 義務教育9年間の発達段階を考慮した望ましい学習習慣の育成
 - 粘り強く課題に取り組む児童の育成に向けた教材研究（学習課題・教材の工夫）の充実
 - 授業形態の工夫による、児童一人一人の実態に応じた授業の展開
- <達成目標>
- ・県学力診断のためのテスト 前年比+2点以上
 - ・学習に進んで取り組むことができる 70%以上

『思いやりのある子』を育てるために

- 発達段階に応じ、児童が主体的に活動する場の設定による自己有用感の高揚
 - 道徳を要とし、全教育活動を通じた豊かな心や感動する心の育成
 - SDGsの視点に立った地域の人々との交流体験活動の推進
- <達成目標>
- ・自分から挨拶ができる 80%以上
 - ・友達に優しくできる 90%以上

『健康でたくましい子』を育てるために

- 授業や休み時間の遊びを通じた運動量の確保と基礎体力の育成
 - 全職員の共通理解・共通実践による事故防止や心と体のケアについての指導
 - 自己管理能力の育成（積極的な感染症予防）
- <達成目標>
- ・体力テスト A+B：45%
 - ・健康や食育に関する授業 月1回程度

信頼される教師集団づくり

- 教職員の資質向上を目指す職員研修の充実
- 計画的なコンプライアンス研修の実施
- 働き方改革の推進
 - ・毎週2日の5時間授業日の実施

特別支援教育の推進

- ユニバーサル・デザインの視点を取り入れた環境づくり
- 個別の指導計画等の積極的な活用
- 家庭及び関係機関との連携強化

安全・安心への取り組み

- 危険回避能力の育成
 - ・様々な災害を想定しての避難訓練の実施
 - ・日常的な指導の継続
- 地域と連携した安全教育の推進

開かれた学校づくり

- 「すぐに対応」「誠意ある対応」の徹底
- PTA活動、地域交流の充実と連携強化
- 学校評価の結果公表と活用
 - ・7月と12月の年2回実施

進んで学ぶ子



思いやりのある子



健康でたくましい子



安全・安心な学校

